



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
多良岳地区笹原線水路他機能保全検討業務

積算書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	多良岳地区笹原線水路他機能保全検討業務

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (調査)

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S02115	*** S単-1号 *** 技師(A)					
	技師(A)		人	59,600		歩A・単A
S02115	*** S単-2号 *** 技師(B)					
	技師(B)		人	48,500		歩A・単A
S02115	*** S単-3号 *** 技師(C)					
	技師(C)		人	40,300		歩A・単A
S02115	*** S単-4号 *** 技術員					
	技術員		人	36,100		歩A・単A
S63003	*** S単-5号 *** 設計労務(直接人件費内業)					
	設計労務(直接人件費内業)		式	1,026,500		歩A・単A
S63007	*** S単-6号 *** 設計労務(直接人件費外業)					
	設計労務(直接人件費外業)		式	2,227,000		歩A・単A
S63007	*** S単-7号 *** 設計労務(直接人件費外業)					
	設計労務(直接人件費外業)		式	374,700		歩A・単A
S63007	*** S単-8号 *** 設計労務(直接人件費外業)					
	設計労務(直接人件費外業)		式	340,000		歩A・単A
S63007	*** S単-9号 *** 設計労務(直接人件費外業)					
	設計労務(直接人件費外業)		式	106,200		歩A・単A
S65002	*** S単-10号 *** 近接目視					
	近接目視 点的構造物, 71㎡		式	89,179		歩A・単A
S65003	*** S単-11号 *** コンクリート強度推定調査					
	コンクリート強度推定調査		測点	4,202		歩A・単A
S65009	*** S単-12号 *** 中性化深さ試験(ドリル法)					
	中性化深さ試験(ドリル法)		箇所	8,510		歩A・単A
X63007	*** X単-1号 *** 現地踏査					
	旅費交通費(機能診断外業宿泊用) ライトバン, 0.50日, 2日, 4時間		式	12,340		歩A・単A
X63007	*** X単-2号 *** 現地調査					
	旅費交通費(機能診断外業宿泊用) ライトバン, 0.50日, 2日, 4時間		式	12,340		歩A・単A
T00001	*** T単-1号 *** 現地踏査					
	笹原線・花取線		km	228,268		歩A・単A
T00002	*** T単-2号 *** 漏水量調査					
	音聴試験、笹原線・花取線		km	40,842		歩A・単A
T00003	*** T単-3号 *** 概略診断調査【バルブ類】					
			箇所	41,820		歩A・単A
T00004	*** T単-4号 *** 概略診断調査【水管橋】					
			箇所	143,370		歩A・単A
T00006	*** T単-5号 *** 平面図及び縦断面図の電子化					
	笹原線・花取線		km	102,650		歩A・単A
T00008	*** T単-6号 *** 移動に係る基準日額					
	現地踏査		式	92,250		歩A・単A
T00009	*** T単-7号 *** 移動に係る基準日額					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	多良岳地区笹原線水路他機能保全検討業務				

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (調査)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単-1号 ***						
S02115	技師 (A)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師 (A)	1.000	人	59,600	59,600	
	合計				59,600	算出数量 1,000 人
	単価				59,600	
*** S単-2号 ***						
S02115	技師 (B)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師 (B)	1.000	人	48,500	48,500	
	合計				48,500	算出数量 1,000 人
	単価				48,500	
*** S単-3号 ***						
S02115	技師 (C)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (C)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04006 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04006	技師 (C)	1.000	人	40,300	40,300	
	合計				40,300	算出数量 1,000 人
	単価				40,300	
*** S単-4号 ***						
S02115	技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04007 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04007	技術員	1.000	人	36,100	36,100	
	合計				36,100	算出数量 1,000 人
	単価				36,100	
*** S単-5号 ***						
S63003	設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 主任技術者の人数 2) 技師長的人数 3) 主任技師の人数 4) 技師Aの人数 5) 技師Bの人数 6) 技師Cの人数 7) 技術員的人数	0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 10.00人 0.00人 15.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	多良岳地区笹原線水路他機能保全検討業務

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (調査)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04005	技師 (B)	10.000	人	48,500	485,000	
R04007	技術員	15.000	人	36,100	541,500	
	合計				1,026,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		1,026,500	
	*** S単-6号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	10.00人				
	5)技師Bの人数	10.00人				
	6)技師Cの人数	15.00人				
	7)技術員の人数	15.00人				
R04004	技師 (A) 外業	10.000	人	59,600	596,000	
R04005	技師 (B) 外業	10.000	人	48,500	485,000	
R04006	技師 (C) 外業	15.000	人	40,300	604,500	
R04007	技術員 外業	15.000	人	36,100	541,500	
	合計				2,227,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		2,227,000	
	*** S単-7号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04005	技師 (B) 外業	3.000	人	48,500	145,500	
R04006	技師 (C) 外業	3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員 外業	3.000	人	36,100	108,300	
	合計				374,700	算出数量 1.000 式
	単価		式		374,700	
	*** S単-8号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.50人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	2.50人				
	7)技術員の人数	2.50人				
R04004	技師 (A) 外業	2.500	人	59,600	149,000	
R04006	技師 (C) 外業	2.500	人	40,300	100,750	
R04007	技術員 外業	2.500	人	36,100	90,250	
	合計				340,000	算出数量 1.000 式

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	多良岳地区笹原線水路他機能保全検討業務

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (調査)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		340,000	
	*** S単- 9号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	1.00人				
R04004	技師 (A) 外業	0.500	人	59,600	29,800	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
	合 計				106,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		106,200	
	*** S単- 10号 ***					
S65002	近接目視		式		1,000	歩A 当たり算出
	近接目視 点的構造物,71㎡			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)対象構造物	点的構造物		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)作業対象面積	71㎡		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
Y00004	機械経費 3.0%	0.030		124,900	3,747	
Y00004	材料費 2.0%	0.020		124,900	2,498	
	合 計				131,145	算出数量 1.000 式
	単 価		式		89,179	
	*** S単- 11号 ***					
S65003	コンクリート強度推定調査		測点		1,000	歩A 当たり算出
	コンクリート強度推定調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)強度推定調査	計上する		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		76,400	7,640	
	合 計				84,040	算出数量 20.000 測点
	単 価		測点		4,202	
	*** S単- 12号 ***					
S65009	中性化深さ試験(ドリル法)		箇所		1,000	歩A 当たり算出
	中性化深さ試験(ドリル法)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)中性化深さ試験(ドリル法)	計上する		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	多良岳地区笹原線水路他機能保全検討業務

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務 (調査)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** X単一 1号 ***					
X63007	現地踏査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (機能診断外業宿泊用) ライトバン, 0.50日, 2日, 4時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 交通機関区分	ライトバン		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 高速道路往復料金 (税別)	4,834円		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 鉄道往復料金 [全員分合算] (税別)	0円		深夜時間: 0.0		
	4) バス往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	5) 船舶往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	6) 航空往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	7) 往復移動日数	0.50日				
	8) ライトバン使用日数	2日				
	9) 時間区分	4時間				
	10) 技師長外業日数	0.000人				
	11) 主任技師外業日数	0.000人				
	12) 技師A外業日数	19.460人				
	13) 技師B外業日数	19.460人				
	14) 技師C外業日数	29.190人				
	15) 技術員外業日数	29.190人				
	16) 宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	17) 宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	4,834	4,834	
M28121	ライトバン [ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	21.600	L	166	3,586	
	合計				12,340	算出数量 1,000 式
	単価		式		12,340	
	*** X単一 2号 ***					
X63007	現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (機能診断外業宿泊用) ライトバン, 0.50日, 2日, 4時間			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 交通機関区分	ライトバン		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 高速道路往復料金 (税別)	4,834円		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 鉄道往復料金 [全員分合算] (税別)	0円		深夜時間: 0.0		
	4) バス往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	5) 船舶往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	6) 航空往復料金 [全員分合算] (税別)	0円				
	7) 往復移動日数	0.50日				
	8) ライトバン使用日数	2日				
	9) 時間区分	4時間				
	10) 技師長外業日数	0.000人				
	11) 主任技師外業日数	0.000人				
	12) 技師A外業日数	33.000人				
	13) 技師B外業日数	25.600人				
	14) 技師C外業日数	40.340人				
	15) 技術員外業日数	69.200人				
	16) 宿泊料金1人当料金 (税別)	0円				
	17) 宿泊手当1人当料金 (税別)	0円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	4,834	4,834	
M28121	ライトバン [ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,960	3,920	
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド	21.600	L	166	3,586	
	合計				12,340	算出数量 1,000 式
	単価		式		12,340	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	多良岳地区笹原線水路他機能保全検討業務

業務別業務名: 多良岳地区笹原線水路他機能保全検討業務 (調査)

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** T単-1号 ***					
T00001	現地踏査		km		10,000	歩A 当たり算出
S63007	笹原線・花取線 設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	2,227,000	2,227,000	S単 6号
Y00004	雑品	0.025		2,227,000	55,675	
	合計				2,282,675	算出数量 10.000 km
	単価		km		228,268	
	*** T単-2号 ***					
T00002	漏水調査		km		10,000	歩A 当たり算出
S63007	音聴試験、笹原線・花取線 設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	374,700	374,700	S単 7号
Y00004	雑品	0.090		374,700	33,723	
	合計				408,423	算出数量 10.000 km
	単価		km		40,842	
	*** T単-3号 ***					
T00003	概略診断調査【バルブ類】		箇所		10,000	歩A 当たり算出
S63007	設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	340,000	340,000	S単 8号
Y00004	雑品	0.230		340,000	78,200	
	合計				418,200	算出数量 10.000 箇所
	単価		箇所		41,820	
	*** T単-4号 ***					
T00004	概略診断調査【水管橋】		箇所		1,000	歩A 当たり算出
S63007	設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	106,200	106,200	S単 9号
Y00004	雑品	0.350		106,200	37,170	
	合計				143,370	算出数量 1.000 箇所
	単価		箇所		143,370	
	*** T単-5号 ***					
T00006	平面図及び縦断図の電子化		km		10,000	歩A 当たり算出
S63003	笹原線・花取線 設計労務(直接人件費内業)	1.000	式	1,026,500	1,026,500	S単 5号 算出数量 10.000 km
	合計				1,026,500	
	単価		km		102,650	
	*** T単-6号 ***					
T00008	移動に係る基準日額		式		1,000	歩A 当たり算出
S02115	現地踏査 技師(A)	0.500	人	59,600	29,800	S単 1号

令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
多良岳地区笹原線水路他機能保全検討業務

特 別 仕 様 書

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

第 1 章 総 則

(適用範囲)

第 1-1 条

令和 6 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 多良岳地区笹原線水路他機能保全検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第 1-2 条

本業務は、国営多良岳開拓建設事業で造成された笹原線水路及び花取線水路の機能診断及び機能保全計画作成を行うものである。

(場 所)

第 1-3 条

本業務において対象とする施設の場所は、佐賀県鹿島市地内で、別添位置図に示すとおりである。

(土地の立入り等)

第 1-4 条

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第 1-16 条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第 1-5 条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第 1-6 条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は、作業実施順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

(管理技術者)

第 1-7 条

- (1) 管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条 第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業農村工学 農業－農業土木 建設－鋼構造及びコンクリート
	農 業	農業農村工学、農業土木
	建 設	鋼構造及びコンクリート
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	
	鋼構造及びコンクリート	

(2) 調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第1－8条

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1－9条

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

(1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

(2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第1－10条

受注者は、共通仕様書第1-37条に記載されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2－1条 設計の基本的事項に関しては、次の図書を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	農業水利施設の機能保全の手引き	(一社) 農業土木事業協会	令和5年4月
2	農業水利施設の機能保全の手引き 「パイプライン」	農林水産省農村振興局	平成28年8月

3	農業水利施設の長寿命化のための 手引き	農林水産省農村振興局	平成 27 年 11 月
---	------------------------	------------	--------------

(設計条件)

第 2-2 条 本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、安全管理を含めた作業計画を作成して監督職員及び監督職員が指示する者と十分打合せを行い、手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 現地調査に伴い施設内に立ち入る場合は、事前に監督職員と打合せを行い、施設管理者との調整を実施するものとする。
- (4) 現地調査の結果、新たに仮設等が必要となった場合は監督職員と協議する。
- (5) 現地調査作業を行う場合は、労働安全衛生法等の諸法令を遵守して行うものとする。

(対象施設)

第 2-3 条 本業務で実施する機能診断調査の対象施設は、次のとおりである。なお、詳細については【別紙 1】調査対象施設一覧表による。

- (1) 笹原線 L=9.84km (管水路)
- (2) 花取線 L=9.62km (管水路)

(参考図書)

第 2-4 条

本業務で参考にする図書は、共通仕様書第 2-1 条によるほか次表によるものとする。

番号	図書・資料名	発行	制定(改訂)年月
1	コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針-2022-	(社)日本コンクリート工学工	令和 4 年 6 月
2	コンクリート診断技術 '24		令和 6 年 3 月
3	コンクリート標準示方書 (設計編)	(社) 土木学会	令和 5 年 3 月
4	コンクリート標準示方書 (施工編)		令和 5 年 9 月
5	コンクリート標準示方書 (維持管理編)		令和 5 年 3 月
6	農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル (パイプライン編) (案)	農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室	平成 29 年 4 月

(貸与資料)

第 2-5 条 貸与資料は、次のとおりである。

分類	資料名	数量
現況関係資料	国営多良岳開拓建設事業 事業誌	1 式

〃	国営多良岳開拓建設事業 施設管理図	1 式
過年度業務成果物	令和 5 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 多良岳地区万才線水路機能保全検討業務	1 式
〃	令和 5 年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 多良岳地区笹原線水路機能保全検討業務	1 式
その他	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1 式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第 2-6 条

第 2-4 条、第 2-5 条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項で相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、施設機能診断作業時点の最新版を用いることとし、改定された場合は、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員から請求があった場合のほか、完了検査まで一括返納しなければならない。

第 3 章 作業内容

(作業項目及び数量)

第 3-1 条

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は【別紙 2】「現地調査作業内訳表」及び【別紙 3】「機能診断作業項目内訳表」のとおりである。

作業項目	数量	備考
1. 現地調査	1 式	
2. 機能診断	1 式	
3. 機能保全計画の作成	1 式	

(現地作業内容)

第 3-2 条

現地調査の詳細は次のとおりである。また、作業は施設管理者と調整の上で行う。

- (1) 現地踏査
事前調査で得られた情報を参考に、目視により変状の有無や変状箇所の特定制を行い、踏査結果を整理する。踏査結果を踏まえ、現地調査位置、漏水調査区間を選定、検討する。
- (2) 現地調査
現地踏査において決定した区間にて漏水調査（音聴調査）を行う。
また、対象構造物について、近接目視、定量計測、動作確認を行う。
- (3) これらの調査結果は、農業水利ストック情報データベースの登録情報データ外部入出力機能（施設機械の一次診断結果にあたっては一次診断情報入力用 Excel ファイル）を利用して記録するものとし、記録した電子データは成果物に含むものとする。

(設計作業の留意点)

第 3-3 条

業務の実施にあたって、特に留意する点は次のとおりとする。

- (1) 試験試料採取及び破壊検査は構造物への影響が最小限となるよう配慮するとともに、監督職員と詳細な位置について打合せのうえ決定するものとする。

なお、採取後は、既存施設の機能を損なわないよう無収縮モルタル等により復旧を行うものとする。

- (2) 現地調査及び室内試験において著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。
- (3) 現地踏査等施設の状況確認においては、できる限り施設管理者の同行により意見・助言を受けて実施するものとする。
- (4) 対策内容の検討にあたっては、当該施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (5) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (6) 第 2-4 条、第 2-5 条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (7) 機能保全対策シナリオの検討にあたっては、最新の新素材、新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
 - ・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、
<https://www.nn-techinfo.jp> を参照。
 - ・新技術情報システム（NETIS）については、
<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。
- (8) 対象施設、関連施設及び設備が機能診断を完了している場合は、同成果の内容を確認するとともに十分に活用し効率的な作業を行う。
- (9) 対策内容の検討にあたっては、事業への適用性や施設管理者の管理体制等を総合的に検討する。
- (10) 数量計算にあたっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。
 - ・「工事工種の体系化」は https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/ を参照。
- (11) 農業水利ストック情報データの作成は、機能診断情報記入用 Excel ファイルによる入力のほか、登録情報データ外部入出力機能等を適宜使用することを基本とするが、作業方法、内容等について監督職員と十分協議を行った上作業を行うものとする。なお、作成した電子データは成果物に含むものとする。

（業務写真における黒板情報の電子化）

第 3-4 条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の 1 から 4 によりこれを実施するものとする。

1 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

2 機器等の導入

- (1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

- (2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。
- 3 黒板情報の電子的記入に関する取扱い
- (1) 受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- (2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。
なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案) 6写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- (3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。
- 4 写真の納品
- 受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。
- なお、受注者は納品時に URL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。
- 5 費用
- 機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。
また、初回及び最終回の打合せには、管理技術者が出席するものとする。

- 初回 作業着手の段階
- 第2回 中間打合せ(現地調査段階)
- 第3回 中間打合せ(機能診断評価段階)
- 第4回 中間打合せ(機能保全計画の策定段階)
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

(成果物)

第5-1条

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体(CD-R等) 正副 2部
- 2 成果物の出力 1部(電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

(成果物の提出先)

第5-2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口891-20

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第2-3条に示す「対象施設」に変更が生じた場合。
- (3) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (4) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (5) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (6) 履行期間の変更が生じた場合。
- (7) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (8) その他

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7-1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙1】調査対象施設一覧表

施設名称・ 対象構造物	施設概要	備考
笹原1号線 (管水路)	①耐火二層管 φ150mm L=0.93km ②石綿管 φ150mm L=0.89km 【延長合計 L= 1.82km】 ③付帯施設 空気弁 φ20mm 4箇所	
笹原2号線 (管水路)	①塩ビ管 φ75mm L=0.06km 【延長合計 L= 0.06km】 ②付帯施設 制水弁 φ75mm 1箇所	
笹原3号線 (管水路)	①耐火二層管 φ250mm L=0.06km ②石綿管 φ250mm～200mm L=1.09km 【延長合計 L= 1.15km】 ③付帯施設 空気弁 φ20mm 1箇所	
笹原4号線 (管水路)	①塩ビ管 φ125mm～100mm L=1.34km 【延長合計 L= 1.34km】 ②付帯施設 空気弁 φ20mm 4箇所 制水弁 φ125mm～φ75mm 6箇所 減圧水槽 2箇所 ディスクバルブ 2箇所 水管橋 φ100mm 1橋	
笹原8号線 (管水路)	①石綿管 φ200mm～150mm L=2.49km ②耐火二層管 φ200mm L=0.27km 【延長合計 L= 2.76km】 ③付帯施設 空気弁 φ20mm 9箇所 制水弁 φ150mm～φ75mm 12箇所 減圧水槽 1箇所 定水位弁 φ150mm 1箇所 水管橋 φ200mm 1橋	
笹原10号線 (管水路)	①塩ビ管 φ100mm L=1.26km 【延長合計 L= 1.26km】 ②付帯施設 空気弁 φ20mm 1箇所 制水弁 φ100mm～φ75mm 3箇所	

笹原11号線 (管水路)	①塩ビ管 φ 100mm L=0.64km 【延長合計 L= 0.64km】	
	②付帯施設 空気弁 φ 20mm 1箇所 制水弁 φ 100mm～φ 75mm 5箇所	
笹原12号線 (管水路)	①塩ビ管 φ 100mm L=0.82km 【延長合計 L= 0.82km】	
	②付帯施設 空気弁 φ 20mm 2箇所 制水弁 φ 75mm 2箇所	
花取1号線 (管水路)	①石綿管 φ 350mm L=1.48km 【延長合計 L= 1.48km】	
	②付帯施設 空気弁 φ 20mm 3箇所 流量計 φ 350mm 1箇所 流量計室 1箇所 吐水槽 1箇所	
花取2号線 (管水路)	①石綿管 φ 300mm～φ 250mm L=1.26km 【延長合計 L= 1.26km】	
	②付帯施設 空気弁 φ 20mm 5箇所 制水弁 φ 300mm～φ 75mm 5箇所 減圧水槽 2箇所 ディスクバルブ 2箇所	
花取2号分岐線 (管水路)	①鑄鉄管 φ 150 L=0.28km ②石綿管 φ 150 L=0.32km 【延長合計 L= 0.60km】	
	③付帯施設 空気弁 φ 20mm 3箇所 制水弁 φ 150mm～φ 75mm 3箇所	
花取3号線 (管水路)	①石綿管 φ 250mm～φ 150mm L=0.97km ②塩ビ管 φ 100mm L=0.25km 【延長合計 L= 1.22km】	
	②付帯施設 空気弁 φ 20mm 2箇所 制水弁 φ 250mm～φ 75mm 5箇所 流量計 φ 250mm～φ 125mm 2箇所 流量計室 2箇所 減圧水槽 2箇所	

	ディスクバルブ	2箇所	
花取4号線 (管水路)	①石綿管	φ150mm	L=0.41km
	【延長合計 L= 0.41km】		
	②付帯施設		
	空気弁	φ20mm	1箇所
	制水弁	φ150mm～φ75mm	3箇所
	流量計	φ150mm	1箇所
	流量計室		1箇所
花取5号線 (管水路)	①石綿管	φ150mm	L=0.42km
	②塩ビ管	φ100mm	L=0.14km
	【延長合計 L= 0.56km】		
	②付帯施設		
	空気弁	φ20mm	1箇所
	制水弁	φ150mm	1箇所
	流量計	φ150mm～φ100mm	2箇所
	流量計室		2箇所
花取5-1号線 (管水路)	①塩ビ管	φ100mm	L=0.82km
	【延長合計 L= 0.82km】		
花取6号線 (管水路)	①石綿管	φ200mm～100mm	L=1.20km
	②塩ビ管	φ100mm	L=0.99km
	【延長合計 L= 2.19km】		
	②付帯施設		
	空気弁	φ20mm	5箇所
	制水弁	φ150mm～φ75mm	6箇所
	減圧水槽		2箇所
	ディスクバルブ		1箇所
	定水位弁	φ100mm	1箇所
花取9号線 (管水路)	①石綿管	φ200mm～φ150mm	L=0.98km
	②塩ビ管	φ100mm	L=0.12km
	【延長合計 L= 1.10km】		
	③付帯施設		
	空気弁	φ20mm	3箇所
	制水弁	φ200mm～φ75mm	6箇所

【別紙2】現地調査作業項目内訳表

笹原線・花取線

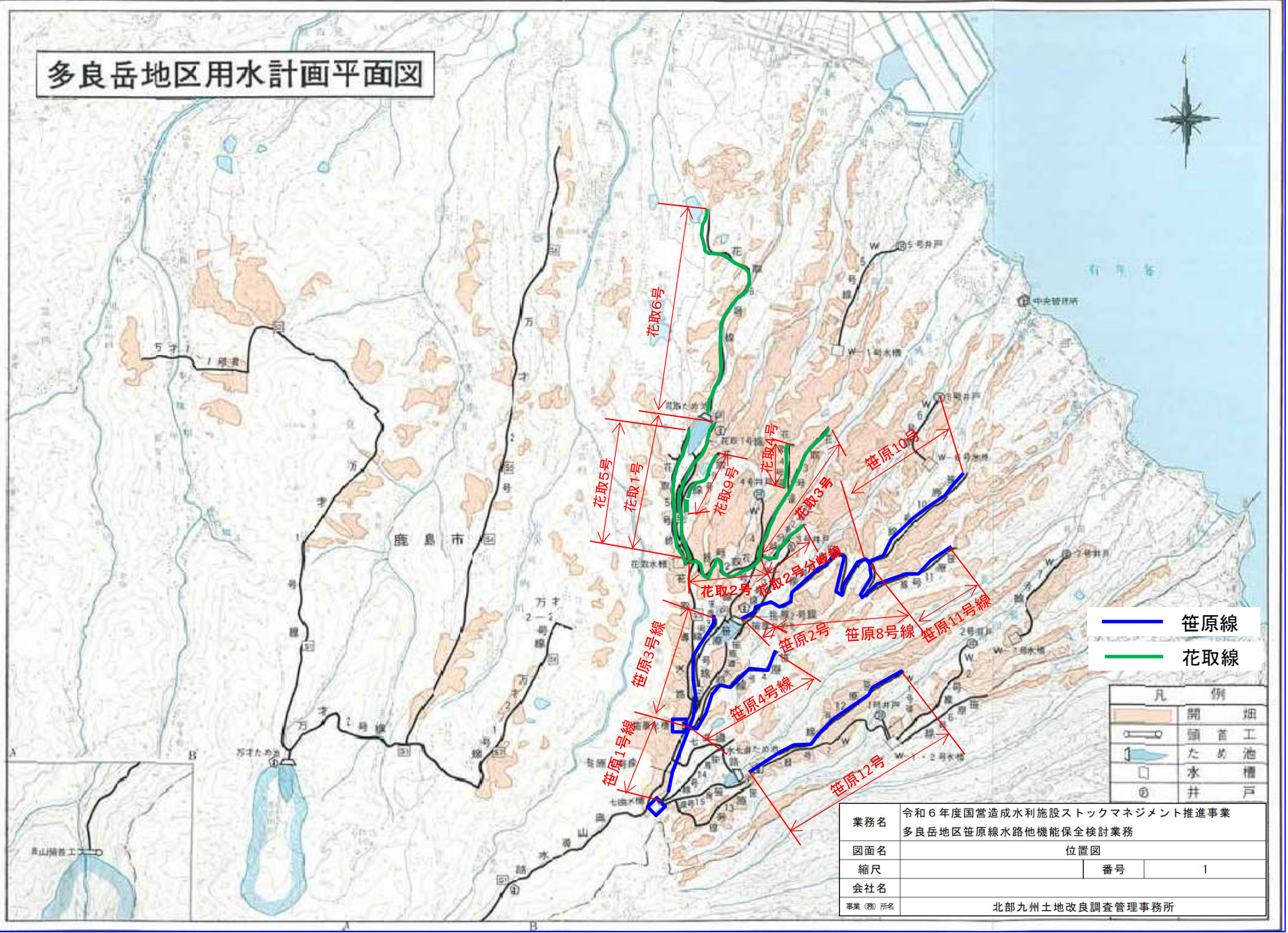
作業項目	作業内容	数量	備考
1. 平面図及び縦断図の電子化	施設管理図、用地管理図、地理院地図等を基に、平面図及び縦断図を整理し電子化（CAD化）し、管路情報（管種・管径、付帯施設位置等）を図示する。 現地踏査により概定した路線、付帯施設の情報を反映する。	19.46km	
2. 現地踏査	事前調査で得られた情報、電子化図面を参考に、想定される路線上に於て構造物等を確認しながら路線位置を概定するとともに、地形的特徴や維持管理上の課題を整理する。また、概定した路線・付帯施設等の変状の有無や変状箇所の特定を行い、踏査結果を整理する。踏査結果を踏まえ、現地調査位置を選定、検討する。	19.46km	
3. 漏水調査（音聴調査）	漏水探知機及び音聴棒を用いて漏水の有無を確認し、漏水が確認された場合は区間を整理する。	17.11km	
4. 概略診断調査 【バルブ類】	事前調査、現地踏査により得られた情報を基に、目視、触覚、聴覚等の五感による判断等から設備の状態、機能を確認する。	128箇所	
5. 概略診断調査 【水管橋】	事前調査、現地踏査により得られた情報を基に、目視、触覚、聴覚等の五感による判断及び簡易計測器測定値等から設備の状態、機能を確認する。	2箇所	
6. 近接目視（点的構造物） 【付帯施設（吐水槽、水管橋下部工、減圧水槽、流量計室）】	目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、変状等を定量的に把握（ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む）するとともに、スケッチを作成する。	71m ²	
7. コンクリート強度推定調査 【付帯施設（吐水槽、水管橋下部工、減圧水槽、流量計室）】	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。 （各施設別に1測点実施）	4測点	
8. 中性化深さ調査（ドリル法） 【付帯施設（吐水槽、水管橋下部工、減圧水槽、流量計室）】	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。（NDIS 3419） （各施設別に1測点実施）	4箇所	

【別紙3】機能診断及び機能保全計画作業項目内訳表

笹原線・花取線

作業項目	作業内容	数量	備考
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	1式	
2. 事前調査	施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し診断評価の基礎材料とする。	1式	
2-1. 資料調査			
2-2. 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状箇所・事故履歴・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	1式	
3. 施設機能の検討	資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。	1式	
4. 施設の影響度評価	事前調査及び現地踏査結果を基に、施設の影響度を評価する。	1式	
5. 性能低下要因の推定	事前調査及び現地踏査結果を基に、性能低下の推定を行う。また、環境（水質又は周辺環境）条件による性能低下の可能性があるか推定する。	1式	
6. 健全度評価	調査結果に基づき、調査単位毎に施設の健全度の判定を行う。	1式	
7. 性能低下予測	性能低下要因推定結果、健全度判定結果等を踏まえ、現況施設の性能判定を行うとともに、性能管理指標を選定し、現地条件に適合する性能低下予測手法により、性能低下予測を行う。	1式	
8. 管理水準の設定	性能低下予測の結果を基に、構造の安全率、施設の重要度及び経済性を踏まえ、各施設の管理水準を設定する。	1式	
9. 機能保全対策の検討	施設別に現地状況に適合する対策工法を複数選定（最低2ケース）し、選定された対策工法・実施時期・実施範囲を組み合わせる対策シナリオを複数作成する。	1式	
10. 機能保全コストの算定	対策シナリオ毎に機能保全コストを算定し、比較する。（コスト算定のために必要な数量計算、設計図面作成を含む。）	1式	
11. 機能保全計画の策定	機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設重要度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画を策定する。なお、状況監視等を継続する必要があると認められる施設については、経年変化状況把握などのための施設監視計画を作成する。	1式	
12. 農業水利ストック情報データの入力及び登録	上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの入力及び登録を行う。	1式	
13. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	1式	

多良岳地区用水計画平面図



— 笹原線
— 花取線

凡 例	
	開畑
	頭首工
	ため池
	水槽
	井戸

業務名	令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 多良岳地区笹原線水路他機能保全検討業務		
図面名	位置図		
縮尺		番号	1
会社名			
事業(務)所名	北部九州土地改良調査管理事務所		